資料2

2023(令和5)年度の宇治市域の温室効果ガス排出状況について

1. 宇治市第３次環境保全計画削減目標

・ 2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比で46%以上削減を目指す。
・ 2050(令和32)年度までにゼロカーボンシティの実現を目指す。

2. 温室効果ガスの総排出量

(1) 2023(令和5)年度の排出量

・ 宇治市域の温室効果ガスの排出量は80.0万 t-CO_2 となり、前年度比では6.9%減少となり、2013(平成25)年度比で30.7%減少となりました。
・ 【表・図-1,2】の数値は、エネルギー消費統計調査(資源エネルギー庁)の数値が改訂されたため、昨年度に公表した資料の排出量とは異なります。

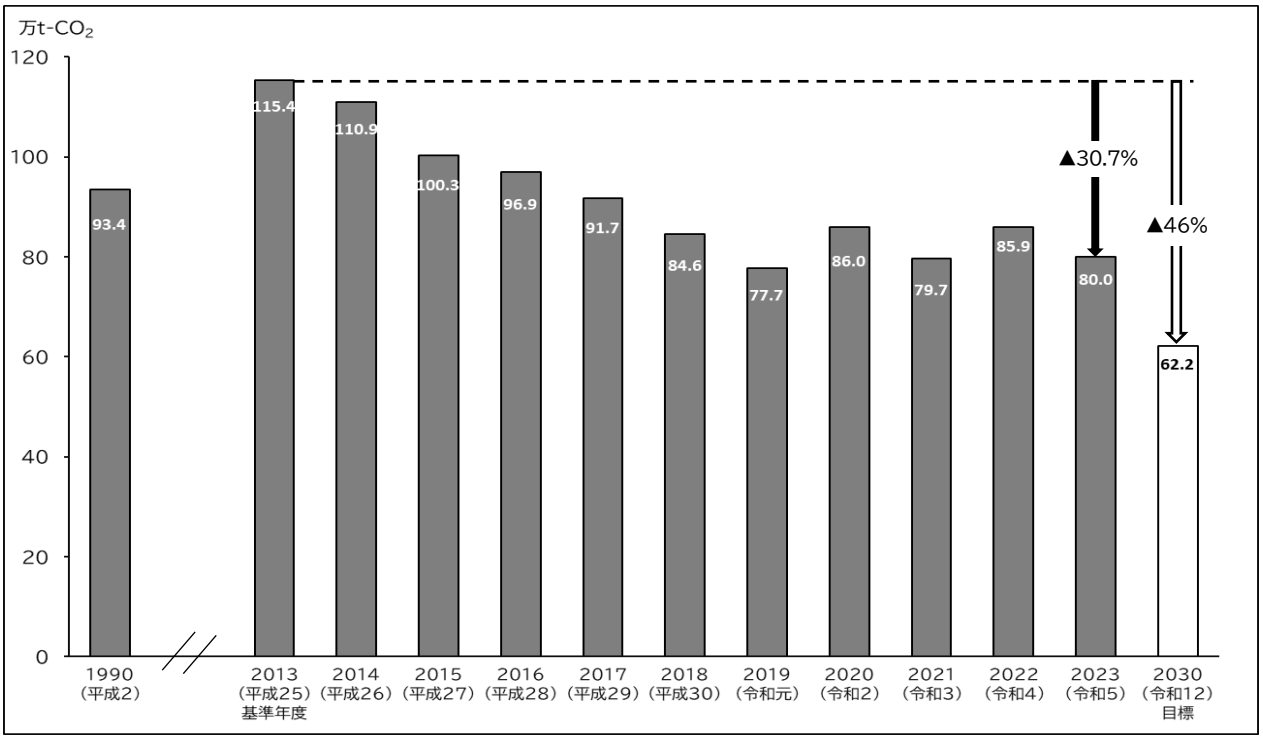
【表-1】温室効果ガス総排出量 (単位:万 t-CO2)

	2013(平成25)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	
	【基準年度】	【前年度】 <基準年度比>	排出量 <基準年度比>	前年度比
総排出量	115.4	85.9 <▲25.6%>	80.0 <▲30.7%>	▲6.9%

(参考)宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画
目標:2023(令和5)年度までに温室効果ガスを1990(平成2)年度比で25%以上削減

計画最終年度にあたる2023(令和5)年度の宇治市域の温室効果ガス排出量は約80.0万 t-CO_2 となり、基準年度である1990(平成2)年度比で14.4%の減少にとどまり、目標値を達成することができませんでした。

【図-1】排出状況の経年変化



（2）温室効果ガスの部門別排出状況

部門別排出状況については、産業部門が基準年度である 2013（平成 25）年度比で38.7%減少、運輸部門は20.0%減少、民生業務部門は34.9%減少、民生家庭部門は24.7%減少、廃棄物部門は4.5%減少となりました。基準年度に対し、最も大きな削減率となっているのは産業部門で、次いで民生業務部門でした。

【表-2】2023（令和5）年度の部門別排出状況　（単位:万 t-CO2）

部門	1990（平成2）年度	2013（平成25）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2030（令和12）年度排出目標	前年度比	2013（平成25）年度比
産業	47.3	41.4	28.9	25. 4	23.6	▲12.3%	▲38.7%
運輸	19.9	21.9	17.7	17. 5	8.7	▲0.9%	▲20. 0%
民生業務	10.6	22.9	16.3	14. 9	11.0	▲8.5%	▲34. 9%
民生家庭	14.7	28.4	22.1	21. 4	13.9	▲3. 3%	▲24. 7%
廃棄物	1.0	0.8	0.9	0. 8	0.9	▲10.6%	▲4.5%
総排出量	93.5	115.4	85.9	80. 0	57.8	▲6.9%	▲30. 7%

注 1）温室効果ガス排出量の算定に用いる一部の統計数値には、公表に3年以上要するものがあるため、暫定値として前年度の数値で算出しているものがあります。

注 2）資料中の数値は、端数処理の関係で合計値等が整合しない場合があります。

※産 業 部 門・・・第 1・2 次産業（農林業、建設業、製造業等。ただし、自動車に関するエネルギー消費は除く）

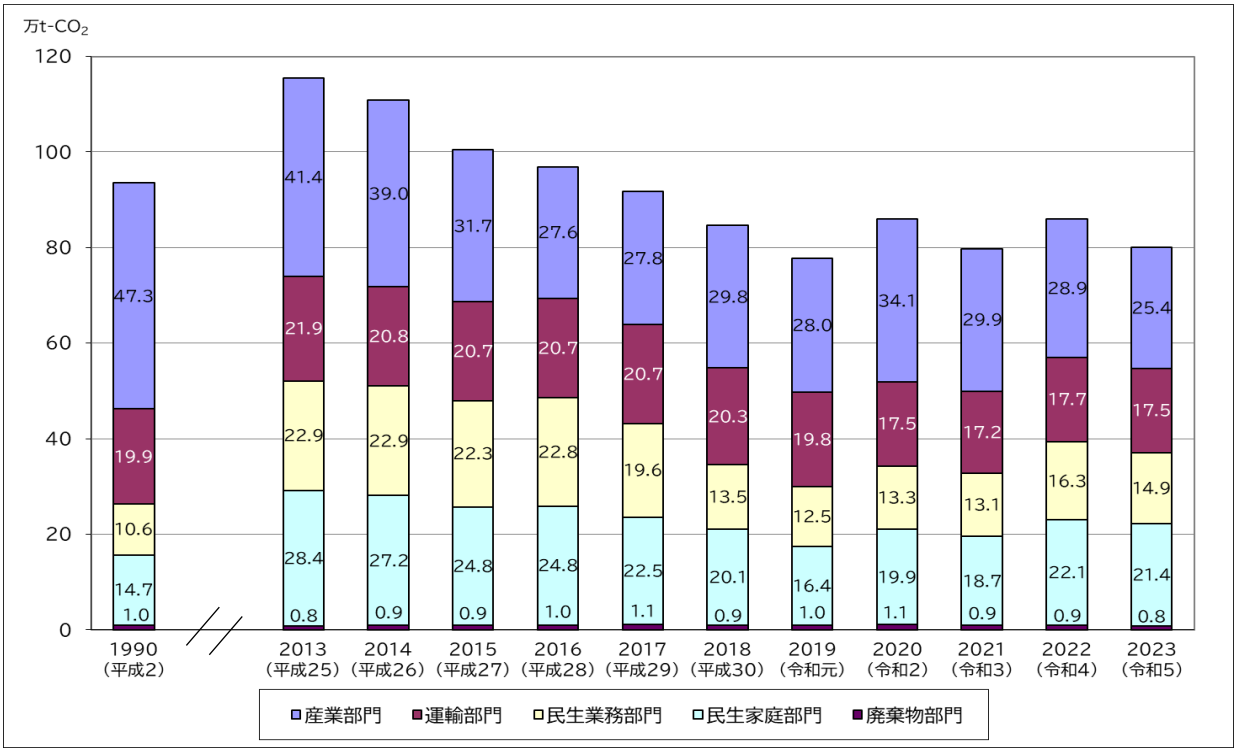
※運 輸 部 門・・・自動車及び鉄道

※民生業務部門・・・第 3 次産業（小売業、卸売業、飲食業、宿泊業、娯楽業、病院など。ただし、自動車に関するエネルギー消費は除く）

※民生家庭部門・・・家庭生活（ただし、自動車に関するエネルギー消費は除く）

※廃 棄 物 部 門・・・廃棄物処理及び排水処理

【図-2】部門別排出状況の経年変化



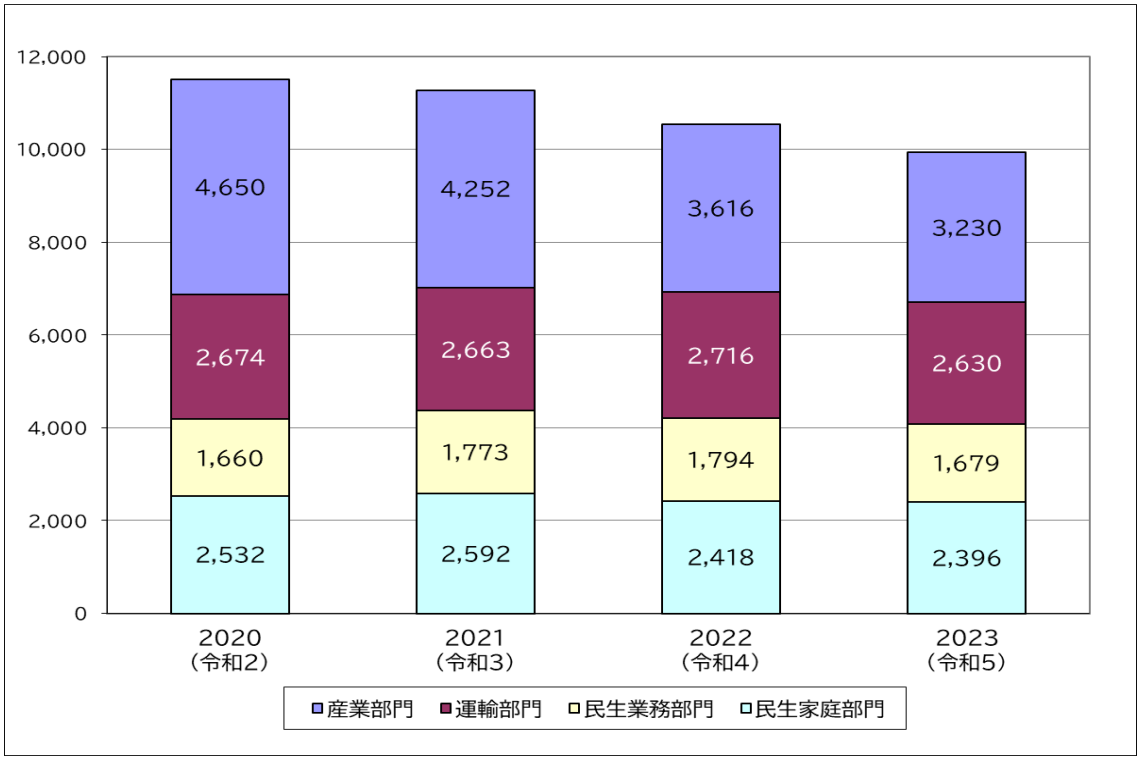
(3) エネルギー消費量

2023(令和5)年度のエネルギー消費量は、前年度比で、産業部門は10.7%減少、運輸部門は3.2%減少、民生業務部門が6.4%減少、民生家庭部門が0.9%減少しており、合計としては5. 8%減少となりました。

【表-3】2023(令和5)年度のエネルギー消費量　(単位:TJ)

部門	2020 (令和２) 年度	2021 (令和３) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	前年度比
産業	4,650	4,252	3, 616	3, 230	▲10.7%
運輸	2,674	2,663	2, 716	2, 630	▲3.2%
民生業務	1,660	1,773	1, 794	1, 679	▲6.4%
民生家庭	2,532	2,592	2,418	2, 396	▲0.9%
計	11,516	11,250	10, 544	9, 935	▲5.8%

【図-3】部門別消費量状況の経年変化



○産業部門

基準年度比▲38.7%　＜前年度比▲12.3%＞

前年度比における減少の主な要因は、製造業での省エネルギー対策に伴うエネルギー消費量の減少や、電力会社おける電気の二酸化炭素排出係数が低下したこと等によるものです。

○運輸部門

基準年度比　▲20.0%　＜前年度比▲0.9%＞

前年度比における減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴う公共交通機関への利用転換の動きや、全国的なガソリン使用量の減少に伴うエネルギー消費量の減少等によるものです。

○民生業務部門

基準年度比　▲34.9%　＜前年度比▲8.5%＞

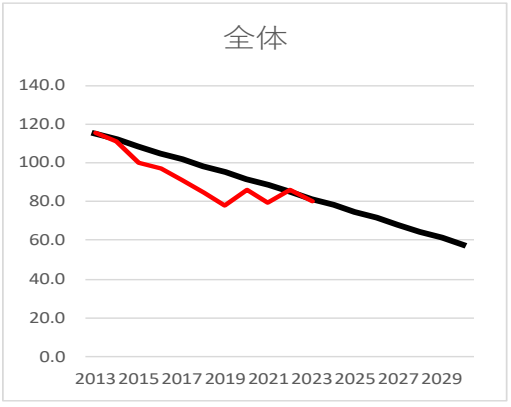
　前年度比における減少の主な要因は、オフィスや商業施設等での省エネルギー対策に伴うエネルギー消費量の減少や、電力会社における電気の二酸化炭素排出係数が低下したこと等によるものです。

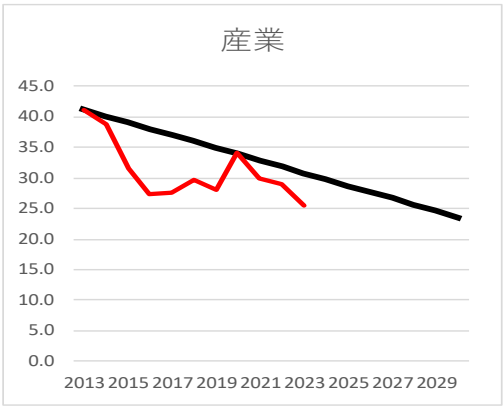
○民生家庭部門

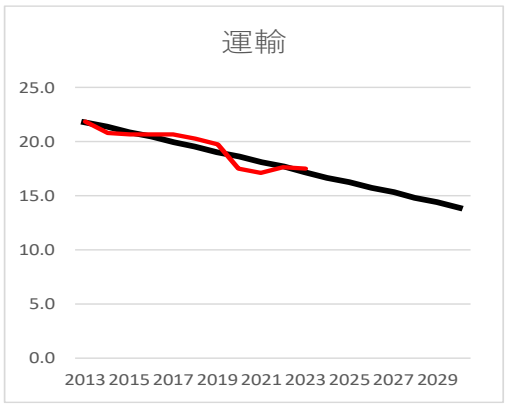
基準年度比　▲24.7%　＜前年度比▲3.3%＞

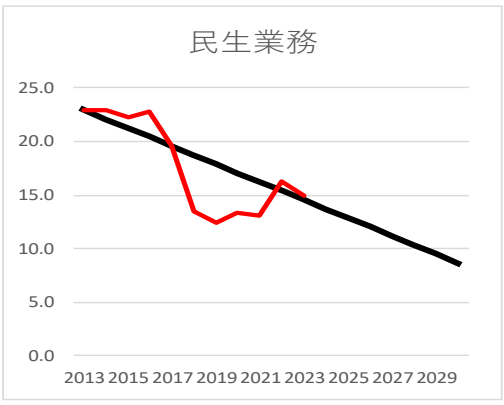
　前年度比における減少の主な要因は、家庭での再生可能エネルギー設備の導入や省エネルギー行動の定着等に伴う世帯当たりのエネルギー消費量の減少に加え、電力会社における電気の排出係数が低下したこと等によるものです。

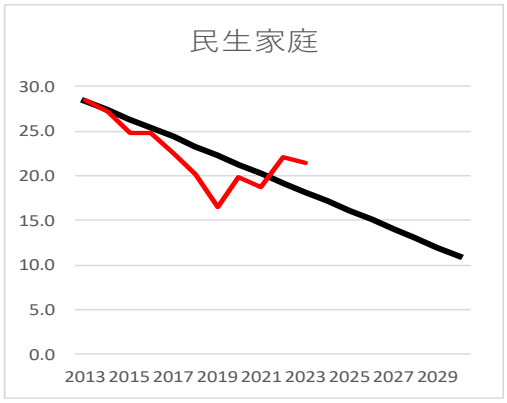
●宇治市域温室効果ガス排出量達成状況
＜2030年度46%削減達成状況（2023年度現在）＞

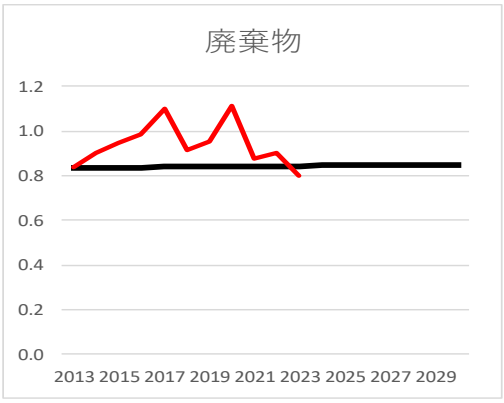












黒線…削減目標達成に向けた排出量
赤線…実績値
※計画で示している部門ごとの削減目標では、全体で46%を上回る49.7%削減としている（宇治市第3次環境保全計画P30）。